

問題 次の文章を全訳せよ。(配点 100 点)

著作権の関係上、問題文は掲載しない。

出典 : Nolen-Hoeksema, S. et al. (2014). Atkinson & Hilgard' s Introduction to Psychology 16th Ed.
Engage Learning EMEA.

入学試験問題「心理学」

問題1 (配点 50 点)

- (1) セリエ(Selye,H.)は、「汎適応症候群」というストレスに関する概念を提唱している。これは、人がストレスにさらされ続けることによって生じる身体的・生理的反応を 3 つの段階に分けて説明をしたものである。第 1 段階は「警告反応期」、第 2 段階は「抵抗期」、第 3 段階は「疲弊(労)期」である。
この 3 つの段階についてそれぞれ解説しなさい。
- (2) ラザルス(Lazarus,R.S.)は、ストレスが人に与える影響について、特に認知的側面に着目したストレスモデルを提唱している。このようなモデルを基にして、ストレス・コーピングに関する研究が多く行われるようになった。ストレス・コーピングは、「問題焦点型コーピング」と「情緒焦点型コーピング」の 2 種類に分けることができる。
この「問題焦点型コーピング」と「情緒焦点型コーピング」のそれぞれについて、どのような特徴があるコーピングなのかを説明しなさい。

問題2 (配点 10 点×5)

以下の用語、人物について説明しなさい。

- (1) Hull, C. L.
- (2) 自伝的記憶
- (3) 具体的操作期
- (4) アニミズム的思考
- (5) 重回帰分析

問題3 (配点 50 点)

心理臨床における「アセスメント(臨床心理査定)」について、医学における「診断」との相違点をふまえて、知るところを論じなさい。

問題4 (配点 10 点×5)

以下の用語、人物について説明しなさい。

- (1) MMPI
- (2) ホールディング(Holding)
- (3) Rosenzweig, S.
- (4) 場面緘黙症
- (5) 守秘義務